

『人と地域のウェルビーイングの実現をめざして』

～つながりが紡ぐ社会教育の在り方について～

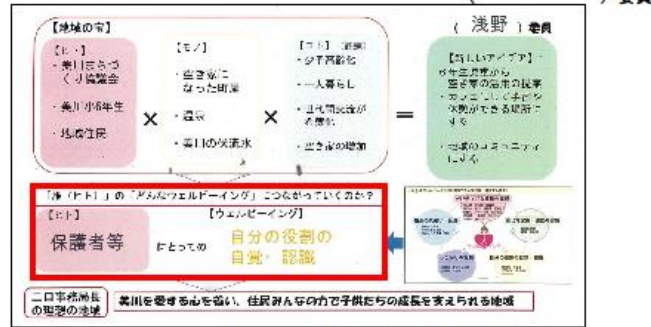
3. 報 告

**「みかわ未来プロジェクト～空き家の利用～」
について報告**

【参加された社会教育委員への質問事項】

『人と地域のウェルビーイングの実現をめざして』

～つながりが紡ぐ社会教育の在り方について～



令和5年度 石川県社会教育委員の第2回会議で作成

1. みかわ未来プロジェクトの報告を受けて、委員の皆様が「誰（ヒト）」の「どんなウェルビーイング」につながっていくのか？を記載した意図や考えをお聞かせください。

2. このプロジェクトをとおして、地域と学校が連携することで「人と地域のウェルビーイング」につながるか。地域と学校が連携することの効果は。

3. このプロジェクトを、二口事務局長が理想とする地域「美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域」につなげるには。今後の方向性や可能性。

4. 震災等による罹災状況下で社会教育は、何ができる可能性があるか。悲嘆と憔悴の中でのウェルビーイングとは何か。

ご協力ありがとうございました。後日、事務局からご連絡を差し上げます。

1. みかわ未来プロジェクトの報告を受けて、委員の皆様が「誰（ヒト）」の「どんなウェルビーイング」につながっていくのか？を記載した意図や考えをお聞かせください。

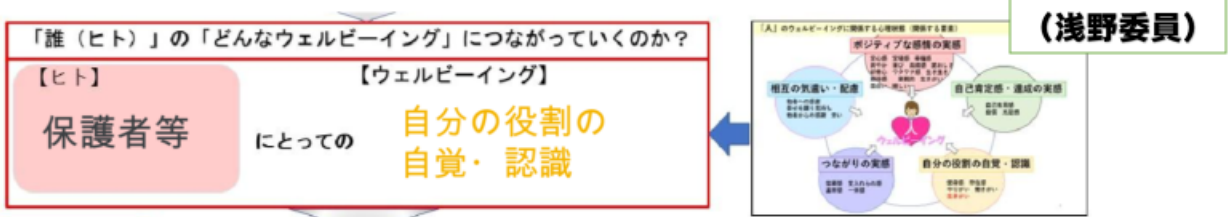
2. このプロジェクトをとおして、地域と学校が連携することで「人と地域のウェルビーイング」につながるか。地域と学校が連携することの効果は。

3. このプロジェクトを、二口事務局長が理想とする地域「美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域」につなげるには。今後の方向性や可能性。

4. 震災等による罹災状況下で社会教育は、何ができる可能性があるか。悲嘆と憔悴の中でのウェルビーイングとは何か。

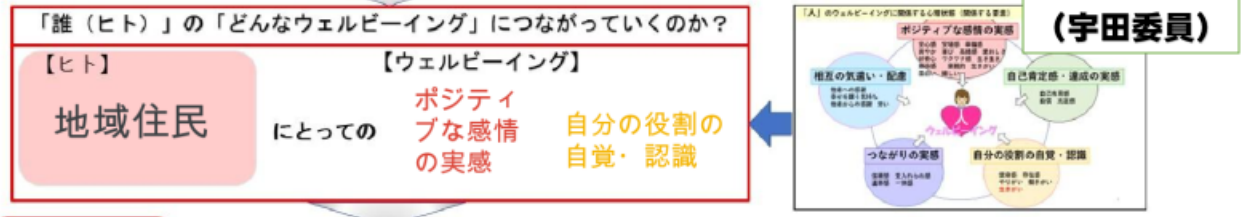
【質 問】

1. みかわ未来プロジェクトの報告を受けて、委員の皆様が「誰（ヒト）」の「どんなウェルビーイング」につながっていくのか？を記載した意図や考えをお聞かせください。



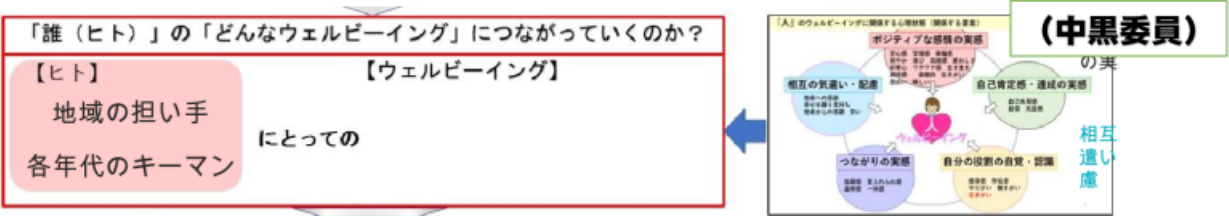
二口事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

みかわ未来プロジェクトの事業には、地域の様々な方が関わっています。その中で、当事業は、地域住民である保護者にとって、親としての役割の自覚・認識だけでなく、地域社会の主要な担い手たる大人として自らの役割の自覚・認識を改めて促す契機になるものと思われまます。
 自らのありようを見つめ直すことによる新たな自己発見、自己の存在価値の再定義というウェルビーイングの一側面を見い出すことができると考えます。



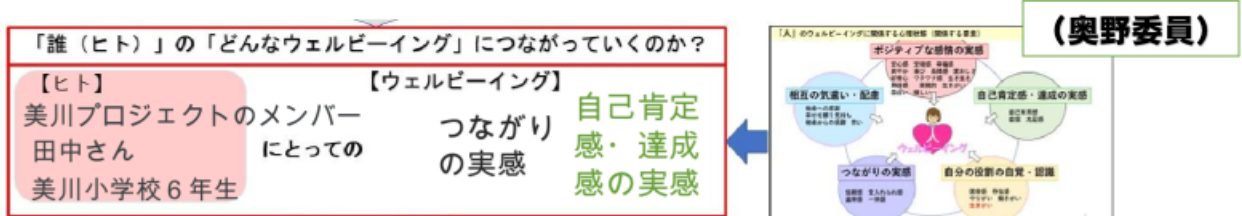
二口事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

地域住民の皆さんにとって、ご自分達の住む町の課題を考え、どのように解決するのかを共に考え、おひとりおひとりがどういった役割を果たせるのかを行動につなげることがウェルビーイングを感じる。



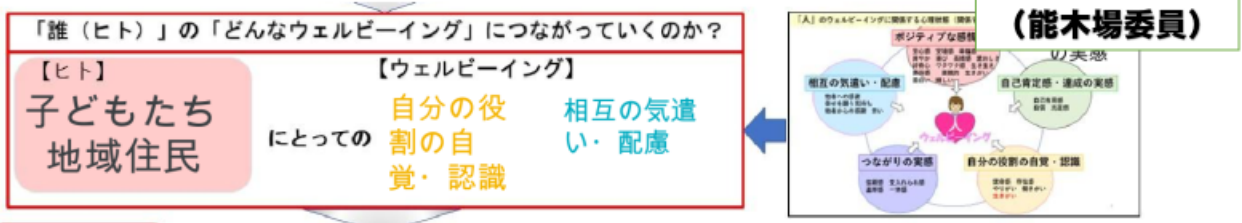
二口事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

美川まちづくり協議会の会員の方々、子育てを終えた方々（地域の祖父祖母）とPTA関係者が多いかと思われまます。一般的な会社員の方々は、私の地域（金沢市内）でも参加が少ないようです。理由は、仕事がいそがしい・なんとなくなど 様々あるようです。
 しかし、人間には、本来【人の役に立ちたい・助けたい】との気持ちがあります。このプロジェクトを行う事により、地域の担い手が増える効果があると考えます。



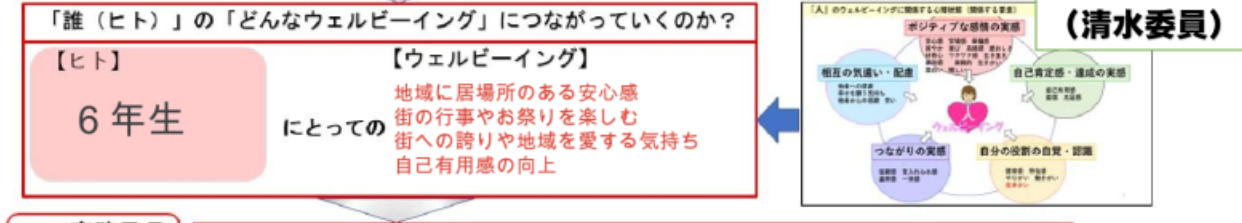
二口事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

コミュニケーションの場としての活用が期待できる。
 ・「ほっとサロンカフェ」
 乳幼児の親子、子育て世代の方が来て、親は休憩、子は高齢者が見守る。いろいろな職種、年齢が集まり、語りあい、歌う。
 ・土日の利用 小中学生の歴史・伝統産業をテーマとしたウォークラリーの拠点
 ・長期休みの利用 大学生などが小中学生に勉強を教える
 ・夜の利用 あかりで飾る
 以上のような学習と交流の場として利用方法をみんなで考えることが一番大切。



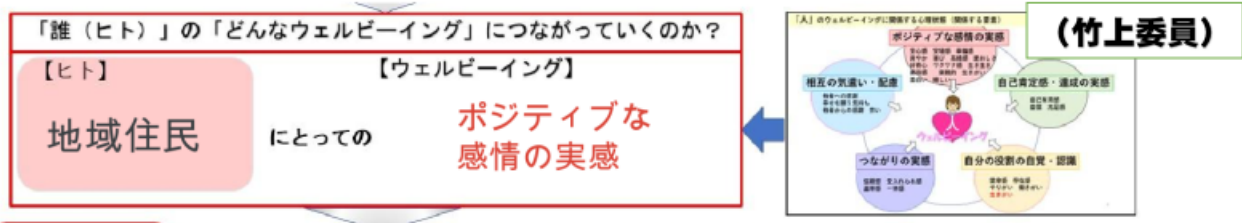
二二事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

美川小6年生が地域の良さを認識し、賑わいのある町にする為の空き家活用を提言し、地域住民と共に実現に向けて取り組んでいる。



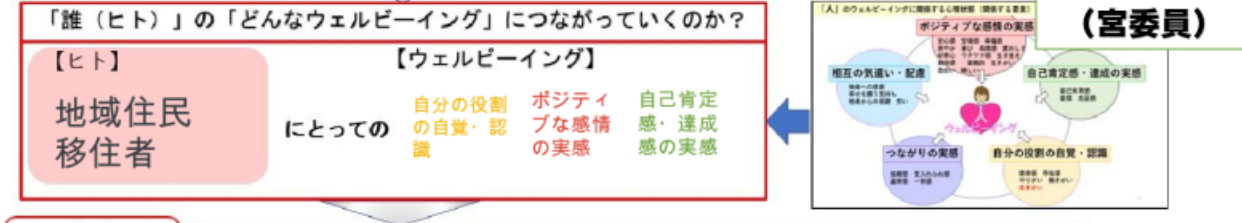
二二事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

6年生が地域の様々な人と関わり、一緒に地域の課題を解決していく中で、地域の歴史や地域の人を知り、美川を愛する気持ち、美川を誇りに思う気持ちが育まれると思う。また、地域の人とのつながりが安心感につながり、街の行事や祭りへの参加意欲につながると思う。さらに街づくりに積極的に参加し、地域の大人に認められることが自己有用感につながり自分の生き方を考えるきっかけにもなるのではない。



二二事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

地域に根ざした事象（歴史文化）に立脚して新たな方向性をとることが重要な点である。



二二事務局長の理想の地域 美川を愛する心を養い、住民みんなの力で子供たちの成長を支えられる地域

少子化により、学校の統合が進む中で、学校のある意味存亡をかけたことが起きている。若い世代をいかに残すか、地域の担い手づくりのためのプロジェクトだと思います。

「誰の」「どんな」 ウェルビーイングにつながるか

ポジティブな 感情

自己肯定感 達成感

地域に根ざした歴史・文化に立脚した新たな方向性（竹上委員）

地域住民とPTA関係者が利他の気持ちを持ち、地域の担い手が増える（中黒委員）

プロジェクトのメンバー、美川小6年生、家主がみんなで考えるコミュニケーションの場になる（奥野委員）

美川小6年生が地域の歴史や人の思いを知り、美川を愛し、誇りに思う気持ちを育てる。自己有用感につながる（清水委員）

PTA
関係者

美川小
6年生

プロジェクト
メンバー

地域住民

相互の気遣い 配慮

美川小6年生が地域の良さを認識し、地域住民と力をあわせて取り組める（能木場委員）

地域住民が自分の役割を考え、行動につなげる（宇田委員）

自分の役割の 自覚・認識

全若い世代を活かし、地域の担い手をつくる（宮委員）

親として、地域社会の担い手として自らの役割を認識（浅野委員）

つながり

【質 問】

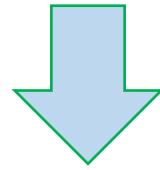
2. このプロジェクトをとおして、地域と学校が連携することで「人と地域のウェルビーイング」につながるか。



プロジェクトをきっかけに地域と学校の連携が密になり、地域住民との交流やふれあいをとおして、児童に多様な価値観や社会性が育まれ、次代の担い手を育てていく効果がある。

【質 問】

3. このプロジェクトの今後の方向性や可能性について。



子供たちが地域における「意味ある他者」と出会い、共にプロジェクトを進めていくことで、美川の町に誇りをもち、思いやりの心をもった大人へと成長する可能性がある。

また、継続的に地域住民と子供たちが共に学び、地域の魅力について考える機会をつくることで、住民たちが世代を超えて活動できる街づくりに貢献できるのではないか。